

時間割コード	G3D21420	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュⅣ（初級）					担当教員	WINDLEY SAMUEL PETER
英文授業名	Practical EnglishⅣ						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生	FⅡ【化2】
講義室	繊維2 1 番講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンベンション	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Practical EnglishⅢに引き続き、日常英語やビジネス英語など実用的な英文（ 広告・案内文・手紙 など ）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験においてグローバル化に対応できることを示す高スコアの取得にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English Listening Skill Reading Skill						
(6)授業計画	Week 1: Introduction to course and tools Week 2: Describe someone important in your field of study - writing and feedback Week 3: Describe someone important in your field of study - blog post Week 4: Talk about how you have helped your community - writing and feedback Week 5: Talk about how you have helped your community - blog post Week 6: Differences in global education - writing and feedback Week 7: Differences in global education - blog post Week 8: Campus-focused digital transformation activity Week 9: Making Ueda Campus more welcoming - video and feedback Week 10: Making Ueda Campus more welcoming - response video Week 11: Winter activities for students - video and feedback Week 12: Winter activities for students - response video Week 13: Content production strategies and peer review - video feedback Week 14: Content production strategies and peer review - response video Week 15: Team video production practice・授業アンケート Week 16: 期末試験						
(7)成績評価の方法	① 授業の習熟度を測る課題（40%） - Reading and writing exercises (12%) - Speaking and listening exercises (20%) - Digital transformation and digital literacy activities (8%) ② 期末試験（40%） ③ TOEIC IPテストのスコア(10%) （評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.0152 【上限10%】） ④ 「Practical English 9 (Reallyenglish)」の自学自習(10%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・Detailed instructions will be provided on eALPS. Students must check eALPS before and after each class.						
(10)履修上の注意	単位を与えられるためには、授業に出席するだけではなく、予習復習などの授業時間外学習を行わなければならない。 授業への積極的な参加と定期的に出題される課題への意欲的な取り組みが必要である。また、授業外の時間に、なるべく多く英語にふれる機会をつくるようにしてほしい。						
(11)質問,相談への対応	メールアドレスは授業中にお知らせします。						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外						

(12)授業への出席	(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	There is no textbook for this class, but students will be required to purchase digital educational tools. (The cost of the tools will be similar to the cost of a regular textbook.) Details will be provided in class and on eALPS.
【参考書】	指定しない